

安田倉庫株式会社向け「ソーシャル・ハイブリッドローン」への融資について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、安田倉庫株式会社を借入人、株式会社みずほ銀行をアレンジャー（幹事）とするシンジケーション方式による国内初の「ソーシャル・ハイブリッドローン」（以下「本ローン」）に融資を行なうことを決定しましたので、お知らせします。

ソーシャルローンとは、国際ガイドラインである「ソーシャルローン原則」（注1）に準拠し、社会的課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンのことです。

また、ハイブリッドローンとは、負債と資本の中間的性質を持ち、負債であることから株式の希薄化は発生しない一方、利息繰延、超長期の償還または返済期限、清算手続および倒産手続における劣後性等、資本に類似した性質および特徴を有し、格付機関から調達金額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることができる資金調達手法となります。

本ローンは、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から「ソーシャルローン原則」および金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン」（注2）に準拠している旨の評価を取得しており、「JCRソーシャルローン評価」の最上位評価である「Social 1」（注3）の総合評価を取得しています。

当社は、「ESG投融資方針」（注4）に則り、ESGの観点から投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なっていきます。

【案件の概要】

借入人	安田倉庫株式会社
契約締結日	2022年2月24日
資金使途	医療課題の解決に資するメディカル物流施設（注5）の土地取得・建設資金に係るリファイナンス
組成総額	150億円（うちソーシャル認証トランシェ 計60億円）
当社融資額	10億円
アレンジャー（幹事）	株式会社みずほ銀行
対応するSDGs目標	 

（注1）ソーシャルローン原則：

英国 Loan Market Association (LMA)、香港に本部を置くアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association (APLMA)、米国 Loan Syndications and Trading Association (LSTA) が、2021年4月発行した社会プロジェクトに用途を限定する融資の国際ガイドライン

（注2）ソーシャルボンドガイドライン：

金融庁がソーシャルボンドの普及を図ることを目的として、国際資本市場協会（ICMA）により2021年6月に公表された「ソーシャルボンド原則」との整合性に配慮して2021年10月に策定したガイドライン

(注3) 株式会社日本格付研究所(JCR)による評価レポート

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/social/>

(注4) 2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf

(注5) 安田倉庫株式会社が2020年6月に開設したメディカル物流に特化した東雲営業所(東京メディカルロジスティクスセンターI)は、都心や羽田空港へのアクセスに優れた東京湾岸エリアに位置し、幅広い分野の医療機器の取り扱いと共に、医療機器適切保管のための温度帯設備、非常用発電装置、高度なセキュリティシステム等、医療サービスの供給を止めないための体制を備えており、災害やパンデミック等の緊急時にも物流業務を継続できる仕組みを構築。また、従来からの倉庫・物流機能に加え、医療機器の点検の代行や迅速な修理対応や洗浄サービスを可能とする「医療機器総合ワンストップサービス」を提供し、多忙な医療従事者の業務負荷の軽減、経営の効率化に寄与

以上